

事務局通信 NO.11

長崎障がい児・者の性を考える教育研究会
宮原春美(ピンチヒッター)

2013.11 発行(すっかり遅くなって申し訳ないです)

食欲の秋、読書の秋、眠りの秋 etc. 皆さんはどのような秋になりそうですか？

ここまで書いて中断していたら急に寒くなってしまいました。皆様冬支度をしっかりしましょう！

8月の定例会は例年通り、からだ探検隊 1号、2号への参観としました。

<からだ探検隊1号>

日時：平成25年8月24日 9:00-16:00

場所：長崎大学医学部保健学科 体育館下チュートリアル室

参加者：お子さん：保育園生から小学校6年生まで17名で大村市、諫早市、長崎市から参加されました。

内容：男女の違い、大人になる心と体、プライベートゾーン、受精と着床が大きなテーマでしたが

今年の目玉は「ひとをすきになること」で初めて「Love」「恋」を取り入れたことです。

友達、両親、兄弟に対する好きと違って、「その人のことばかり考えてしまう」「夢に出てくる」

「手をつなぎたくなる」「一緒にいたくなる」などの感情を紹介しましたが、参加したお子さんの方から

「胸がどきゅんとする」というほほえましい感情も紹介してもらいました。

<からだ探検隊2号>

日時：平成25年8月25日 13:00-16:00

場所：長崎大学医学部保健学科 体育館下チュートリアル室

参加者：小学生、中学生、高校生、社会人の20人の方とその保護者、見学者3人とたくさんの方が参加されました。

内容：男女の違い、大人になる心と体、プライベートゾーン、私の場所みんなの場所、いいタッチと悪いタッチのロールプレイを取り上げました。今年は「私の場所とみんなの場所」を新しいテーマに取り入れ、マナーやルールについて確認できたことはよかったのではないかと思います。また例年看護学専攻の学生が中心になってピア・エデュケーションを展開しますが、今年は卒業後発達障害児・者の療育に関わる人が多い作業療法学専攻の学生が参加していて彼らの今後にきたいと思ったことでした。また、参加者が多いのはうれしいことですが、一方で障がい特性を考えると参加者の対象年齢が広範囲になると内容に焦点がぼれなかったり、会場が狭くて音や光などの環境への配慮ができていくなどの問題もありました。来年度に向けての検討課題です。



<次回定例会のお知らせ>

今回は第4回総会で11月18日(土)13:30-15:30、長崎大学医学部保健学科102教室の予定です。今回は保護者の方の報告(子どもさんの性発達とそのことにどのように向き合ってきたのか、これからのお話等)を聞かせていただきたいと思います。報告者は島崎さんと藤本さんをお願いしております。年会費(1,000円)納入も合わせてお願いいたします。